

# 使用・施工上のご注意

この度は、当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。この取り扱い説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。

## ■商品特性

基材が無垢材（竹床材の場合でも木質無垢材と同等）の場合は**複合フローリングと比較した場合、温度や湿度の影響を受けやすい**為、下記工法及び注意事項をよくお読み頂きご理解の上施工していただきますようお願い申し上げます。

## ■商品特徴

本商品は天然素材を使用していますので、一枚一枚色柄が異なります。特に天然木（天然木単板）の特徴は、自然味あふれる木目の変化にあります。木目によっては、てかり感や若干の色違い、黒っぽい節、入皮が出ますが、これは天然素材特有の物です。美しく仕上げるために、**施工前に必ず全部並べて割付け色柄のバランスを確認の上施工**してください。開梱は施工にかかる一週間前に行い、最低3日間は仮並べをし現場の湿度になじませてください。

## ■あらかじめ用意するもの

標準的な工具の他、下記器具をご用意ください。また、コニシ（株）E350Rボンドをご使用の場合は、ボンドを混合するためのパレット、混合棒もご用意ください。



## ■下地条件

本商品は、木質家屋用の根太式施工による床材です。踏み鳴りや浮き上がりを防ぐため、コンクリートにおけるこぼし根太での使用はできません。下地は根太表面をプレーナー仕上げした乾燥材を使用してください。生地を使用したり、下地材が湿気を保っていると、床材の反りや突き上げの原因になります。（コンクリート、モルタル下地の含水率は10%以下にしてください）

下地は必ず12ミリ以上的一类耐水合板を捨張りしてください。この場合、床なり、目違いがないように注意してください。湿気の多いところでの施工は、防湿処理（防水フィルム等）をしてください。表面の木くずやホコリは十分に除去してください。また、施工前に床暖房パネルや下地材が乾いているかよく確認し、万一濡れている場合は絶対に施工しないでください。

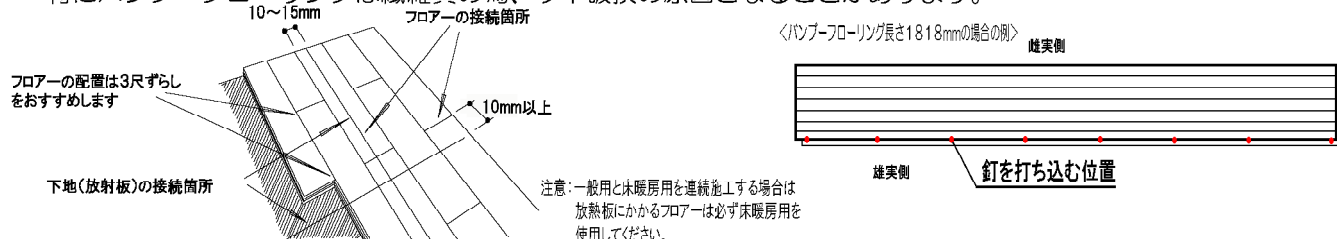
### <特に床暖房での注意点> **ご注意 床暖房対応と表記がない商品は床暖房には使用できません**

床下通気口の位置と数は、建築基準法施行例に従ってください。床下の湿度が特に高い場合は、地盤全体に厚さ60ミリ以上のコンクリートを打設又は厚さ0.1ミリ以上の防湿フィルムを全面に引き詰めるなどの防湿処理を行ってください。

床暖房用の発熱パネルは、各種ガス会社の指定床暖房発熱パネルであることを確認してください。また、機器の通電、通湯テスト、試験運転、機器の工事及び検査が終了していることを確認してください。

## ■割付及び釘打ち方法

踏みなり、浮き上がりを防ぐため根太にスクリュー釘を釘締めで沈め打ち又は、フローネイル（38ミリ以上）を使用し、**ボンドと釘を併用して施工してください**。釘穴位置があわない場合はドリル等で穴を明け施工してください。また、釘頭による膨れが表面にでないようにするために、釘打ち角度は低くなりすぎないように、下地に対して45度～55度の角度で釘打ちしてください。釘打機での施工の場合は、釘打圧に十分注意してご使用ください。特にバンブーフローリングは繊維質の為、サネ破損の原因となることがあります。



## ■使用接着剤

一般用 接着剤はコニシ（株）KU928Rをご使用ください。

床暖房用 接着剤はコニシ（株）E350Rをご使用ください。

接着剤の塗布は、サイド及び雄実まで塗布し、床材に対して均等に塗ってください。

またE350Rは2液混合タイプのエポキシ樹脂接着剤のため、主剤と硬化剤は1：1に混ぜ、専用のくし目ゴテで、**30分以内**に使用してください。30分で塗りきれない場合は、30分以内で使い切れる分量ずつ混合して使用してください。（塗布目安は550-600g/m<sup>2</sup>です）その他、詳細については接着剤の取り扱い説明書を必ずご覧ください。

### <特に床暖房での注意点>

踏みなり、浮き上がり、反りを防ぐため根太にスクリュー釘をポンチで沈め打ち又は、フローネイル（38ミリ以上）を使用し、**ボンドと釘を併用してください**。温水タイプの床暖房の場合、フローリングと発熱パネルの配管方向は直行するようにしてください。

